

科目名	歴史学	英語科目名	Historical Studies	
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	4年 L・R科	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	履修単位	
担当教員	田村 航 (非常勤講師)	居室 (もしくは所属)	管理棟3階 (連絡教員: 酒入)	
電話	内線173 (連絡教員)	E-mail	ysakairi@小山高専のドメイン	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準	
	1. 歴史を学ぶとは単に「過去を学ぶ」ということではなく、「過去を通じて現代を学ぶ」ということであることを評価できる。	①	D	ab
	2. 日本の歴史と世界の歴史を関連づけて、多角的・グローバルな視点から熟考できる。	①	D	ab
3. 単に歴史上の諸事件を「知る」だけでなく、自分なりに「考える」ことができる。	①	D	ab	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1～3について、前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験によって評価する。				
評価方法				
前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、後期末試験の平均点が60%以上のものを合格とする。				
授業内容		授業内容		
1. ヨーロッパ史概観		6. 日本および中国史概観		
2. ルネサンスと中世の秋		7. 日中の交流と国風文化		
前期中間試験		後期中間試験		
3. 英仏百年戦争とジャンヌ・ダルク		8. 冊封体制への編入		
4. ブルゴーニュ家		9. 15世紀半ばの文化		
5. 宗教改革と大航海時代		10. 明の文化の日本への伝播		
キーワード	ブルクハルト・ホイジンガ・一世一元の制・教育勅語			
教科書	特に指定しない。プリントを配布する。			
参考書	1. 堀越孝一『ブルゴーニュ家』 2. 橋本雄『中華幻想』			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	歴史 (3年)			
現学年の関連科目	文学・哲学			
次年度以降の関連科目	人間と科学 I・II (5年)			
連絡事項				
点数や成績という「結果」だけにとらわれず、確実に「体力」をつけるようにしたい。本当に力がついたかどうかを顧みず、目先の利益しか追求してこなかったから、学力低下や企業の偽装が横行し、STAP 細胞問題が起こるのである。				
シラバス作成年月日	平成28年2月16日作成			